

## 白浜レスキューネットワーク通信 11月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujivabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

11月1日～11月30日

電話件数 64件

保護件数 4人(男性2人、女性2人)

帰宅件数 1人(女性1人)

自主退所 2人

○10日、田辺市の葬儀屋から電話があった。葬儀屋の倉庫に不審な男性座り込んでいるのを発見し、話を聞いたところ、生活に困っているようなので助けてもらえないかと言われた。ここまで連れてきてもらうことになり保護した。所持金がほとんどなくなり、数十円で買えるチルドのゆでうどんなどをそのまま食べて空腹をしのいでいた。着替えを用意し、お風呂に入り、昼ご飯を食べた後、いなくなってしまった。自死念慮はなく、行きたいところがあるという話はしていたのでそこに行くことにしたのかなと思っている。

○23日、深夜12時に三段から電話があり、20代の女性を保護した。三か月ほど「自殺旅行」と名付けた旅行に出ていた。自分の髪をバリカンでかり、坊主にしたという。自死念慮が強く、しかし死ぬこともできない自分に怒りさえ覚えていた。共同生活に加わるようになった。

○25日、警察から電話があり、20代の男性を保護することになった。夕食を食べ、一晩泊まり、翌朝「夕食とお風呂ありがとうございました。異教徒の僕にはここで上手くやっつけられる自信はありません。なので東京に帰ります。」とおき手紙を残して出ていった。

○30日、以前まちなかキッチンに関わっていた男性が白浜警察に来ていると電話があった。男性が出ていく時に渡すことができなかったお金が残っていたので、それをもらいに来るのが

目的だったようだ。今大阪の建設会社で働いているが生活に困窮しているようだった。その場で現金を少し渡し、残りを翌日現金書留で送った。

○30日、美浜町に住む30代の女性が当NPOを訪れた。結婚してすぐに、ご主人から子どもをつくることできないことを告げられて、そこから関係がうまくいかなくなり、別居している。今離婚の調停中で、家にいるといつも一人で寂しく、寝れない日も多いと話していた。来れる時はいつ来てもいいよと言う話をした。話をしている中で落ち着きその日のうちに帰宅した。その後美浜の教会に一度来て話をした。

### 生活自立支援活動

11月1日～11月30日

滞在者数 15人(男性14人、女性1人)

○今月保護した20代の女性は、26日部屋に置手紙がおいてあるのを見つけすぐに探しにいった。ウイスキーを一気に飲んでそのまま海に入り、自殺しようと図ったがうまくいかず近くの足湯にいるところを発見した。相当酔いが回っていて、全身ぬれてしまっていた。車に乗せ連れて帰り、その日は一晩女性スタッフが一緒にいた。今までつらかった経験などをひとしきり話していた。数日後、酔ってみんなに迷惑をかけたにも関わらず、みな温かく声をかけてくれることに感動し、少しずつ元気になってきた。種まき等にも参加するようになった。

○先月うつ血性心不全で入院していた男性は15日に退院することができた。しばらく仕事を控えるように言われている。まちなかキッチンの皿洗いに加わり少しずつ動き出している。

○旅館で配膳の仕事をしている男性が9日～11日まで九州の家族に会いに行くことができた。

仕事の休みの関係もあって滞在時間は本当に限られていたが数十年ぶりに再会することができよかったようだ。

○11日、共同生活をしている全員に対して改めて共同生活の心得を確認した。

○以前うちから自立した男性が住んでいたアパートから姿を消しており、行方を捜していた。20日息子がきてアパートの片づけをした。

## 自殺予防活動

・放課後クラブ・コペルくん

開催日数18日、延べ人数106人



17日～2週間、中学生の定期テストのための夜コペを行った。支援者の方からさつまいもをたくさん送って頂き、ピザ釜をつかって焼き芋をした。小学生も中学生もみんなで一緒に食べた。夜コペには毎日 人の中学生が集まった。比較的早めにはじめたにも関わらず熱心にほぼ休まずにくる子たちも多かった。



11月11日、ポッキー&プリッツの日。この日はスーパーにうっているすべての種類のポッキーとプリッツを買ってきて、食べ比べをして楽しんだ。

## ・相談電話

5、12、19、26日に毎週休まず行った。今月も1名の相談員が続けてきてくださった。

## ・農作業



ビニールハウスが完成した。2つのビニールハウスに10本の高設棚がある。これによって屈まずに作業ができる。今後、高齢になり仕事がない人たちの働き場を提供していきたいと考えている。まずは小松菜を育て出荷していく。

## ・年次総会

11月24日にNPOの総会を行った。2014年度の活動報告、決算報告、2015年度の活動計画の説明がなされ全会一致で承認された。

また理事の改選が行われ、栗田直嗣氏が副理事長に就任した。

今年度もたくさんのご支援を頂き、ありがとうございました。